

第3回 浜松市営墓園・墓地のあり方を 検討する有識者会議

(1) 前回の振り返り、今後の進め方

2回目 主な意見＜要旨＞

- ・ 船明墓地の計画区域の縮小は、この15年以後の墓地の必要性を考え、段階的に進めるなど、ある程度余裕を持って進めるべき。
- ・ 5年サイクルでしっかり検証し、状況に合わせて柔軟に見直すことが大切。
- ・ 「合祀墓」という名称は、宗教等に関連するということでNPOでは使用できない。
- ・ 墓地区画の有期限化はうまくいっていない事例が多い
- ・ 有期限化による返還時期はこの15年間に限られない。また、正確に見込むことも困難。
- ・ 合祀の際には、返還請求に備え遺骨を混ぜず、個別に取り出せるようにした方が良い。
- ・ 一つの施設内で、一定期間経過後に合葬→合祀に移す方が、心情的に受け入れられやすい。
- ・ 管理料については、自動引き落としの導入など支払い方法を工夫し、確実に払ってもらえるよう考えるべき。
- ・ 費用の負担は高額で年間3,000円程度の管理料では、墓じまいに対するモチベーションにはつながらない。
- ・ 墓石撤去中所得者でも厳しいので低所得者に限る必要は無い。再貸付を行えば収入が入るため、指定管理者が進める墓じまいにインセンティブを設けるなど対応を検討すべき。
- ・ 生前登録は、本当に必要としているニーズを奪うことになりかねない。他都市の事例では、実収蔵数が可能数の半分程度にも関わらず生前登録によりいっぱいという扱いになっている。

今後の流れ

- ・ 本日のご意見を踏まえ3月31日までに報告書修正案を委員に送付

- ・ 4月7日までに修正等の意見提出〆切



- ・ 4月中旬 報告書完成（座長確認）

~~~~~

- ・ 4月下旬～5月 報告書を浜松市議会（市民文教委員会）に報告

~~~~市庁内で準備調整~~~~

- ・ 10月頃 浜松市墓園・墓地整備計画策定開始